

# 交流のひろば

## おたより コーナー

### だんべえ踊り

#### 全国に発信を

小相木町 小沢 舞子 27

わたしがだんべえ踊りに初めて参加したのは、四年前の前橋まつりでした。その時はまだ参加者は少なかったものの、その後、上州の夏祭りや今回のだんべえフェスタなど、市民がだんべえ踊りに触れる機会が増えました。前橋まつりでの参加者も

## まちのニュース NEWS

### 町全体で守る 沿道のサルビア

#### 上青梨子町

上青梨子町自治会では、六月九日、町内の道に沿ってサルビアの苗を植え付けました。子どもと老年寄りの触れ合い、環境美化を目的に、毎年行われています。作業は暑い日中を避け、早朝に実施。自治会長さんが育てた五百

年々増加し、今や前橋名物から上州名物になりつつあります。

六月九日にグリーンドーム前橋で行われただんべえフェスタは、市制施行百十周年記念イベント。市民はもちろん、高知のよさこい踊りや熊本のおてもやんなど、他県からも踊り手を招き、たくさんの方がドームを埋め尽くしました。わたしも実行委員会スタッフの一員として参加。踊り手としてお手伝いしたおてもやんは、熊本の民謡を基にした踊りです。本場の「火の国まつり愛好会」の皆さんと文化交流ができました。今後だんべえ踊りは、踊っている人も、見ている人も、だれでも楽しく参加できるよう、いろいろな工夫を凝らして、日本全国に発信していければいいな、と思います。

株の苗を、子ども会、老人会を含め、住民総出で植え付けます。水をたっぷり注ぎながら二株ずつ丹念に土をかぶせていき、作業は四十分ほどで終わりました。今後、水やりは自治会の役員、除草は子ども会、と仕事を分担し、町全体でサルビアの道を守ります。八月下旬から九月上旬にかけて、真っ赤な花が咲くことを心待ちにして。同町の湯浅平三郎自治会長は、「子どもたちは、前日田植えをし、今日も頑張りました。学校が土曜も休みになったので、地域で活躍の場を与えたいですね」と話していました。



## まえばしの動物植物 ②8

### スナヤツメ

#### 市自然環境保全推進委員

横室 文也



ヤツメウナギ科ヤツメウナギ属に分類され、北海道から鹿児島県・宮崎県を除く九州に分布します。成魚の体長は十五〜二十 になります。幼魚の時は水のきれいな川の

下流にすみ、やわらかな泥に潜って有機物やけい藻類を食べます。四年目の秋に成魚になって冬を越し、翌年の五〜六月ごろに細かい石がある川底に集まって産卵して一生を終えます。市内では滝川で確認されています。皆さんが、日ごろから水を汚さないように心掛けて、自然環境が今よりさらに良くなれば、魚たちも身近に見られるでしょう。